

目次

はじめに	1
新金沢交通戦略の位置づけ	3
基本的な考え方	4
基本方針	13
具体的な施策	
1．まちなかゾーン（歩行者・公共交通優先ゾーン）	
（１）歩行環境等の確保	
歩けるまちづくりの推進	29
歩行者の安全を重視した交通環境の整備	38
まちなかでの自転車走行環境の改善・走行ルールの徹底	41
（２）公共交通の利便性向上	
公共交通空白地域・不便地域の解消	43
均一区間の料金低減	47
バスで利用できるポイント制度の導入	52
金沢駅～香林坊間の輸送容量の確保と効率的運行	55
香林坊、武蔵ヶ辻のバス待ち環境の整備	59
（３）マイカーの流入抑制	
まちなかは歩行者・公共交通優先であることの明確化	63
バス専用レーンの活用	64
まちなか駐車場の適正配置に向けた指導・支援	68
マイカー流入抑制のさらなる措置	72
2．内・中環状ゾーン（公共交通利便ゾーン）	
（１）公共交通の利便性向上	
内・中環状ゾーン環状バスの運行	83
（２）交通結節点の機能強化	
サイクル・アンド・ライド用駐輪場の設置と利用促進	88
西金沢駅の交通結節点機能の強化	91
東金沢駅の交通結節点機能の強化	95
3．外環状ゾーン（マイカーと公共交通の共存ゾーン）	
基本指針に基づく通勤時P & R駐車場の計画的な設置	101
通勤時P & Rの利用促進策の実施	105

買い物時P & Rの実施	109
ゾーン内での移動手段の確保	114
森本駅の交通結節点機能の強化	116
4．郊外ゾーン(住民参加も得ながら適正規模の移動手段の維持・確保を図るゾーン)	
地域の特性に応じたモビリティ確保の取り組みへの支援	121
オンデマンドバスシステムの導入	126
5．ゾーン間の連携	
公共交通重要路線の設定	131
鉄道線の有効活用	138
6．市域全体として取り組む施策	
(1) 公共交通の利用促進(料金の見直し)	
料金の低減	145
団体に対する定期券大口一括購入割引制度の導入	152
乗り継ぎ割引の拡大	154
バス乗車ポイントシステムの導入	157
(2) 公共交通の利用促進(料金の見直し以外の取り組み)	
金沢バストリガー方式活用による路線の新設・増便	158
タクシーの多機能化	161
カーシェアリングとの連携に向けた検討	163
バス利用環境の整備	165
バリアフリーの推進	169
(3) マイカーから公共交通への意識改革	
市民への意識啓発の充実	171
企業等に対する意識啓発の充実	175
学校を対象とした意識啓発の充実	178
自動車の運転マナーの向上	181
自転車走行環境の改善・走行ルールの徹底	183
(4) 物流について	
まちなかでの荷捌き駐車対策の実施	188
市域全体での物流対策	192
7．広域・圏域交通の確保	
北陸新幹線金沢開業の早期実現	197
能登方面への広域交通の確保	200
都市圏交通の確保	202
航路によるアクセスの確保	203
この戦略を支える制度的枠組み	207